

TFU ALUMNI BULLETIN

東北福祉大学同窓会 会報



新生・宮城県同窓会が正式発足
145周年に向け意気揚がる

3年後に迫った梅檀学園創設145周年記念を前に、東北福祉大学宮城県同窓会の設立総会が10月14日、国見校地のマルチメディア教室で開催されました。2年前の9月6日に宮城県同窓会準備会の設立総会が開かれて以降、準備に拍車がかかり、晴れてこの日を迎えることができました。待望の地元・宮城県同窓会の正式な発足に、参加した80人の会員から喜びの声が上がりました。

全国19番目

北海道の6地区から青森、山形、宮崎、沖縄までを含め、全国19番目の発足になる宮城県同窓会。設立総会に参加した人たちの表情には、新生・宮城県同窓会に対する期待感がヒシヒシと感じられました。準備会会長の佐藤隆雄氏(昭44社福卒)が声高々に開式宣言を行い、大谷哲夫学長が挨拶と記念講演に立ちました。「本学に来て感じたのは学生がきちんと挨拶すること。卒業生の精神が後輩に引き継がれている。3年後に145周年を迎えるが、(大学も同窓会も)さらに発展させたい」と言葉に力を込めました。

大竹榮副学長をはじめ来賓の紹介に続き、大学同窓会の阿部靖彦事務局長が本学の現況を話し「4万8千人の卒業生のうち、宮城で2万人の方がいる。145周年に向けて発展するためご支援、ご鞭撻をお願いします」と訴えました。佐藤氏が議長を務め、総会に移りました。議案①は宮城県同窓会準備会について、経過・活動報告を安彦滋夫準備会事務局長(昭56産福卒)が、収支決算報告を古



上左 設立総会で祝意を述べる大谷学長
上右 同窓会旗を披露する佐藤宮城県会長(左)と菅本会長
下 福聚殿前に勢ぞろいした参加者

「基本が大事」 佐藤 会長

新役員を代表して佐藤会長が「準備会から足掛け3年。念願がかなった。正式に発足し、感謝の念に堪えない。会の基本は会則の第4条、短大時代に制定された校歌の歌詞3番(注1)にある。ここに理想の社会を打ち立てるといふ思想が流れている。変わらない思想、基本理念が大事だ」と、会

に寄せる思いを述べました。

同③の平成29年度事業計画(案)は安彦事務局長が、同④の同収支予算(案)を野崎健介会計(平10社福卒)が発表し、いずれも了承されました。閉式宣言を井上善行副会長(昭55社福卒)が行い、拍手で幕を閉じました。場所を福聚殿に移し、全員で記念撮影。どの顔も晴れやかな表情を見せていました。

吹奏楽部「第40回記念定期演奏会」開催

東北福祉大学吹奏楽部の定期演奏会が第40回を迎え12月9日夕、学食「風土」で「第40回記念定期演奏会祝賀会」を開催しました。1981年度から2016年度までの卒業生23人をはじめ、現役部員、教職員ら約1000人が出席しました。

開会式で堀江謙一部長が「40年を一つの節目にして、更に発展させたい。力を合わせて全国を目指す」と挨拶を述べました。祝辞は東北吹奏楽連盟の木村仁彦事務局長が続いて、元部長・畠山英子教授が「青春時代に打ち込んだことがあると歳を取ってから思い出す。今を大切に」と激励しました。前部長の広浦幸一准教授が乾杯の音頭を取り、現役部員約40人が音楽監督・松崎泰賢氏の指揮で「キャンパス・マーチ」ほか2曲を記念演奏しました。

本学に数々の委嘱作品を手がけている作曲家の八木澤教司氏をはじめ、OB・OGのスピーチが40年の一コマ一コマを物語りました。



40回を祝う参加者

チャリティカレンダーにご協力を

今年で13年目を迎えた「ストリートチルドレン芸術祭」。世界中のストリートチルドレンに絵を描いてもらい、チャリティカレンダーの制作・販売をしています。得られた収益は子どもたちの自立支援の費用などに当てられます。

2018年版のテーマは「思い出」。教育評論家の尾木直樹さんやサンドウィッチマンの伊達みきおさん、富澤たけしさんなど、著名な方に無償で選出いただきました。なお、カレンダーの購入はHP (http://childrens-smile.com/) の申し込み欄か、あるいはEメール = charity@tfu-mail.tfu.ac.jp、氏名・住所・電話番号・注文部数を記入の上からできます。

通信教育部からのお知らせ

政府の「人生100年時代構想会議」では、いつでも学び直しをして、別の仕事につけるやり直しができる社会が構想されています。そんななか、「社会人が大学で学び直す」と、ちょっと大変だけどこんなメリットがあります」と言っていただけの通信教育部にな

り、福祉と心理に理解のある方を増やしていきたいと思えます。通信で学んだ方々の各地での活躍ぶりに出会うことがあり、頼もしく感じます。メリットには有形無形いろいろあるでしょうが、学んだことが役立っている点をメール等でいただければ嬉しいです。(国見 太郎)

地域共創の現場

いささか旧聞に属するが、昨年11月に日本私立大学協会が発行する機関紙「教育学術新聞」の取材を受けた。地方創生をテーマにした連載企画で、「地域共創の現場―地域の力を結集する」というタイトルに沿った内容だった。加盟する大学のホームページを見て、本学が地域を通して、さまざまな取り組みをしているのを知り、白羽の矢が立ったというわけだ。

▼記者の関心の一つに、地域のステークホルダーからの評価が分かる資料がほしい、というものがあつた。さて、どこにあったかと思つたら、思いのほかすぐに見つかった。大学が立地する国見地区町内会と2010年に「地域共創」に関する協定を結び、翌年、学生サークル「ま」の「てくらぶ」が誕生した。辛い所に手が届く地域の孫の手役として、より良い地域づくりに貢献することが目的。▼メンバーは高齢者宅を訪れ、庭の草むしりや見守り支援活動などを行っている。活動に対する声が町内会報をはじめ複数の新聞に掲載されていたこと、記者の要望は満たされた。「まごのてくらぶ」以外にも地域貢献の例は事欠かない。11月23日付の地元・河北新報刊「声の交差点」に一通の投書が載った。国見の近隣、中山地区で行われた同11日の防災訓練についてだった。▼本学学生10人余が、地域の高齢者住民や地元中学生と実施。簡易トイレの組み立て現場で高齢者が格闘する中、中学生が説明書を見て要領よく組み立てることで、高齢者が感心したという話だった。世代を超えたこうした訓練の場を設けたのも実は本学だった。取材を終えた記者は帰る際に「福祉大の活動は飛び抜けている」と感嘆した。(国見 太郎)

互に連携を深め、一致結束することが期待されます。注1 短大設置の祝賀会で初披露された歌詞(作詞・藤原勉)の3番 「徳性まどかに鍛えつつ 福祉の道押し進め 民草茂る安らげき 理想の社会 打ち立てん」

同窓会便り ①

催しの報告

秋田県大曲仙北会総会



大曲仙北会地区同窓会

去る9月30日、大曲プラザつみて大曲仙北会総会及び設立10周年記念事業として記念講演会が開催された。

10年の節目となる今年度の総会は、大学からキャリアセンター・キャリア支援課の富樫純平係長と、平成29年2月に設立した東北福祉大学秋田県同窓会東北支部の大川清彦氏(昭53社福卒)を来賓としてお迎えし開催。事業報告、決算報告、事業計画案、予算案などを審議し、原案通り承認された。また、役員改選では、佐々木昭会長(昭49社福卒)ほか現役員が再任され、会の継続、発展を目指すことを確認した。

議事審議後は、富樫純平係長から、大学の近況をはじめ、同窓会会員の協力やネットワークが、あらゆる分野で活躍できる人材の育成を目指す大学の取り組みと合致し、大きな力となっていることなどの報告が行われた。

10周年記念事業として企画した講演会では、本学特任教授の草間吉夫氏(平26社福研究科卒)が「大学の今と私が歩んだ道」と題し、大学の現状や「価値の創造」「価値の発信」「ブランド力の向上」など、大学としてのこれからの戦略や、自身の生い立ちから、学生時代、そして茨城県高萩市長時代

のエピソードなどを交えて、歩んできた半生について熱く語っていただいた。

講演会には、会員ほか会員家族や、遠くはさいたま市から草間氏の同級生も駆けつけるなど、とてもリラックスした雰囲気で行われた。

終了後は、少人数ながらも、草間氏を囲み、大学時代の思い出話や近況を報告し合いながら交流を深め、楽しい時間を過ごした。最後は全員で肩を組んで校歌を歌い散会となった。

秋田県東北支部同窓会



秋田県東北支部同窓会

秋田県東北支部同窓会が10月28日に北秋田市のホテル松鶴で開かれ、29年度事業計画などを決め、母校の近況などを含め、理解を深めた。

県北支部は北秋田市地区の秋田県民生協、社会福祉法人県北報公会、行楽会を中心に29年2月に設立、現在は34名で運営をしている。

総会には、15名が出席。佐藤進支部長(昭56社福卒)の挨拶に続き、キャリアセンターキャリア支援課の平間正志課長から、大学の近況と就職状況などについての報告を受けた。「2018年問題」があり、東京などとともに東北の各大学も危機感をもっているとの話が印象的だった。

この後、高校生向けの大学紹介の動画を鑑賞。議事で事業報告、予算案などを承認した。

懇親会では久しぶりに会う仲間との時間を楽しみ、来年度も会えることを約束し、会が終了した。

櫻の会同窓会



櫻の会同窓会

四本木 宜昭氏(昭47社福卒)

第5回櫻の会(昭47年度卒)が11月19日から21日に東京で開催された。19日は東京駅に集合して、東京三社大の一つである神田明神、湯島聖堂を見学。20日午前には2階建てのバスで都内を回り、午後は東京湾をクルーズで食事しながら夜景を満喫した。

参加者は11人だったが、次回は秋の京都に決まり、まだ参加できない人も多く参加してほしいと話した。

今回の幹事は全員が昭和47年社福卒の保坂幸子氏(旧姓佐藤)、大竹房子氏(旧姓塩崎)、梅村雅子氏(旧姓穴戸)、目黒充子氏(旧姓齋藤)で、皆さんのお陰で楽しい会になった。

静岡同窓会にて富士山女子駅伝応援

静岡同窓会では毎年の恒例になりつつある富士山駅伝の応援に行われた。富士山駅伝は、例年冬季に行われる、日本学生陸上競技連合主催の女子の大学駅伝大会である。(別名・富士山女子駅伝)

前々日の12月28日夜に静岡入りした選手、部員12名と冠監督ほか大学関係者の計15名を激励し、宿舎「富士ホテルニシムラ」に参上。佐々木隆志会長(昭59社福研究科卒)をはじめ県内卒業生で壮行会を行った。地元で活躍中の古橋京子(平20通心卒)夫婦の協力で私設応援団も結成することができた。

大会当日、富士宮駅近くの中央町商店街清水銀行富士宮支店前朝の9時、私設応援団が集合。一区、二区間を応援し、ゴールの富士総合運動場へ向かった。

佐々木会長は大学フラッグを抱えスタートからバイクで全区間を追随応援。堀越英宏副会長(昭54産福卒)一行は河川敷四区を担当し、県内卒業生やその関係者らみんなで母校を応援した。

結果は17位と目標としていた記録には届かなかったものの、学生にとつては今後の糧になる走りが出来たようだ。今年も応援ができるように陸上部女子駅伝チームを静岡同窓会一同応援を続けている。

人物登場

48年ぶりの母校訪問 浦尾 隆志氏(昭44社福卒)



菅本会長と母校を見学する浦尾氏(左)

鳥根県松江市に在住する浦尾隆志さん(昭44社福卒)が1月16日、卒業以来、48年ぶりの母校訪問を果たしました。

国見キャンパス内に立ち、記憶に残っているのはわずかに松の木だけ。当時と様変わりした外観を見ながら「立派になって、うれしい限りだ」と、まるで我が子を見つめるかのように感慨に浸りま



ゴール後、選手をたたえて

宇田川研究室同窓会開催のご案内



宇田川一夫先生

福祉心理学科宇田川一夫先生の古希の節目にあたり同窓会を開催いたします。学部の宇田川ゼミの同窓生、大学院の同窓生(宇田川ゼミに限らず)の皆様におかれましては、お誘い合せの上ご参加頂きますようご案内いたします。

日時・平成30年3月10日(土)午後1時30分～8時30分
第一部の事例検討会は午後1時30分～5時、東北福祉大学国見キャンパス2号館2階221教室で行います。参加対象者は臨床心理士および同資格受験資格取得済みの方となっています。

第二部の懇親会は午後6時30分～8時30分、仙台市宮城野区榴ヶ岡4丁目1-5仙台ガーデンパレス(仙台駅東口より徒歩3分) 電話022(299)7177で行います。会費は、第一部・第二部合わせて6,500円、第一部のみ参加の場合は5,000円です。記念品(500円)だけでも参加したいという方も大歓迎です。

なお、今回の同窓会にあわせまして、宇田川先生の数々の研究論文等をまとめた記念論文集を作成しました。こちらは完全予約制で申込受付は終了しております。ご提供できる部数は残りわずかとなっておりますのでご希望の方はなるべく早くご連絡ください。参加申込先 e-mail tfu.udazemi.chaospe@gmail.com (連絡係 内藤裕子)

宇田川先生の事例検討会に緊張し、キレのあるコメントに感動した後は、先生のこれまでのご指導に感謝しながら、盃を傾け旧交を温め合いました。なお、東北福祉大学のホームページの卒業生のコーナーでもご案内しております。

懇談した後、図書館や音楽堂、芹沢銈介美術工芸館などのほか、車で足を伸ばし、大学関連施設の特別養護老人ホーム「せんだんの丘」やステーションキャンパス館などを見学しました。

前日に仙台入りし、東日本大震災の被災地・石巻市を視察。震災の語り部の話を聞いてからの母校訪問でした。震災を風化させないために管理棟や音楽堂内に展示されている被災地の写真ポスターを熱心にカメラに収めていました。

ギャラリートークを満喫



和やかなギャラリートーク

芹沢銈介美術工芸館では企画展に合わせて期間中、5回のギャラリートークが開かれています。10月3日から2月1日まで開催された芹沢銈介コレクション「インドネシア 鳥々の絆」(かすり)展では12月16日、6階のフロアで3回目のトークが行われました。

案内役の学芸員が、参加した18人の見学者を前に、芹沢銈介氏のプロフィールから展示されている作品までを分かりやすく丁寧に説明しました。

東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館 展示予定

年	2018年	開館時間	10:00～16:30 (入館は16:00まで)
月	4月9日(月)～6月30日(土)	入館料	一般300円、学生200円 高校生以下、本学学生・教職員・卒業生(同行者含む)は無料
展示内容	〈特別展〉「芹沢銈介・暮らしに生きるデザイン」 〈同時開催〉「芹沢長介収集品紹介ーそば猪口ー」	休館日	日曜・祝日 展示替え期間 入試期間 大学休業日(要問い合わせ)

〒981-8522 仙台市青葉区国見1丁目8番1号 東北福祉大学2号館内
TEL 022-717-3318 FAX 022-717-3324 https://www.tfu.ac.jp/kogeikan/

展示期間・内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

Gallery Mini Mori

6月2日から「新海誠」展

2016年7月、東北福祉大学仙台駅東口キャンパス内に新設された「ギャラリーMini Mori」。17年9月から11月にかけて開催された「放浪の天才画家 山下清展」は多くのファンが訪れ、賑わいました。

- JR 仙台駅/東西自由通路から徒歩3分
 - JR 仙石線/仙台駅から徒歩約2分
 - 仙台駅東口/東西地下自由通路「出入口1」より徒歩1分
 - 仙台市地下鉄/南北線・仙台駅から徒歩約7分、東西線・宮城野駅「北1出口」から徒歩約1分
- ※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

仙台市宮城野区榴ヶ岡2-5-26 東北福祉大学仙台駅東口キャンパス内
https://www.tfu.ac.jp/minimori/

同窓会便り②

総会の報告

富山県同窓会

9月9日(土)、富山市のホテルグランテラスで第13回富山県同窓会の総会が、本学地域共創推進室の平野貴之氏(平8社福卒)を迎えて開催された。議事では、平成28年度活動報告・決算報告並びに平成29年度活動計画・収支予算が承認された。

また、同窓会会則の一部改正案を承認。顧問・役員改選では、会長に坪島浩三氏(昭57社福卒)が再任された。

記念講演では、東日本大震災から6年半を迎えたこともあり、平野貴之氏が「東日本大震災における大学の取り組みと今」と題し、当時の状況を踏まえた話が熱く語られた。震災発生翌日から「ボランティア会」を発足させて支援活動を開始。学外の団体と協力しながら今も数多くの学生たちが被災市町村への復興支援を続けており、教員と学生を合わせ延べ6千



新潟県同窓会

平成29年度新潟県同窓会が9月16日(土)、新潟市万代市民会館で開催された。

市民公開講座では東京学芸大学に留学しているカンボジア人ハンマカラーさんを講師に迎え「外国

人が活動に赴いたとのことであった。

震災に遭った地域では、自らも被災者でありながら多くの人に寄り添い、共に支え合う姿がそこにあったのだと感じた。被災地では仮設住宅が閉鎖され、災害公営住宅の整備など、被災された方々の生活再建に向けた取り組みが始まっている。長い間住み慣れた土地で、安心した生活を送れるよう心からお祈りしている。

その後の懇親会では、昔の話、現在の職場や生活の状況など大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができた。



富山県同窓会

語を学ぶこと、そして交流へつながる」というテーマで講演をいただいた。

講演会終了後の総会では岡大成同窓会会長(昭55社福卒)が挨拶、来賓として新潟県同窓会顧問の江尻行男教授から大学の近況を伺った。議事では、前年度決算並びに事業報告、今年度の予算審議と事業計画案が承認された。

その後の懇親会では、ハンマカラー講師と新潟に住むカンボジア人留学生も仲間入りし、故国と新潟での生活を交え、楽しいひと時を過ごした。

後日、講演会に来てくれた他の国の留学生も含めクリスマスパーティーを開催。今後も継続して国際交流事業を進めていくことになった。

北海道十勝地区同窓会

第4回目となる北海道十勝地区同窓会が11月11日(土)、帯広市のアパホテル帯広駅前で開催された。

総会は21名の同窓生と、総合福祉学部社会福祉学科の三浦剛教授と石澤優紀教務部教務課長にお越しいただき開催された。

十勝地方はあいにく前日から11月上旬としては珍しい冬將軍に襲われ、当日はさらに強風のためJRが大幅に遅れるなど、昨年の44年ぶりの大雪に続き2年連続で悪天候となり、大変な苦勞をおかけして先生方にお越しいただいた。

総会に先駆け、三浦剛教授が「障害者への支援のこれまでとこれから」と題して講演。戦後長く続いた措置制度から障害者自立支援法へと制度改革が続いている障害者福祉についての説明があり、あらためて学ぶ良い機会になった。

北海道旭川地区同窓会

北海道旭川地区同窓会が11月18日(土)、旭川トヨホテルで開催された。北海道では、函館、札幌、十勝、釧根、空知、旭川の6地区で同窓会活動が展開されている。

今回の旭川地区の同窓会は、設立10周年を記念しての開催となり、本学特任教授の草間吉夫先生を招聘して、記念講演という形で広く地域住民に呼びかけた。また当日は、あいにくの天候で、朝から雪がちらついて、足下が悪く、またご多用の中、お越しいただいた。先生には、10周年に華を添えていただき、紙面をお借りして、改めて御礼を申し上げます。

祝賀会では、旭川地区同窓会会長の和田明浩氏(昭46社福卒)のあいさつの後、教務部事務部長の鈴木智彦氏から大学の近況を報告していただいた。私どもが在学中は、北海道出身者が数多く在籍し

その後、石澤教務課長がDVDの映像を交えて大学の近況を報告した。

総会では、馬場敏美会長(昭47産福卒)の挨拶に続き、平成28年度の事業報告と決算報告、平成29年度の事業計画と予算について審議が行われ、提案通り承認された。

懇親会では、1年ぶりに会った方、初めて会った方等々であったが、学生時代に戻り学生生活の話や仙台市内の思い出話で大いに盛り上がった。



北海道十勝地区同窓会

ていたが、膨れ上がる学生数に反比例し、学生総数5,750人中50名ほどになったとの話を聞き、驚きを隠せなかった。また、急速な変貌を遂げ、福祉から保健、そして看護と広がりを見せ、仙台、いや日本に欠かすことが出来ない総合大学に発展してきた姿に触れ、感慨深いものがあった。

久しぶりに会う仲間との楽しい時間はあつという間に過ぎ、またの開催を願い、2次会に向かった。



北海道旭川地区同窓会

静岡県同窓会

11月18日(土)、平成27年に設立したばかりの静岡県同窓会は、第2回となる総会を静岡市葵区紺屋町「クーポール会館」で開催。秋の行事で多忙の中、22人の参加者で開催された。

今回は、一昨年、富士山女子大学駅伝で引率された浦幸一准教授にお越しいただいたことで、杜の都駅伝の結果や富士山駅伝出場に向けての取組や抱負などを伺った。

北海道札幌地区同窓会

平成29年度、北海道札幌地区同窓会が11月25日、15時30分からホテルポールスター札幌で開催された。

第一部は、記念講演で、「情報マネジメント3つの視点から考える情報」と題して、東北福祉大学情報福祉マネジメント学科の高橋俊史助教に講演をいただいた。近頃、耳にするICT、IoTとその活用から個人情報保護法改正まで、関係領域の貴重なお話を24名で伺った。

次に17時から総会に移り、26名の参加で、渡辺憲介会長(昭47社福卒)と、大学総務部参与の菅本昭夫先生から挨拶を頂き、昨今の大学情報として、昔の裏門の利用状況が圧倒的に多いことなど、懐かしい話があった。議事も速やかに承認いただき、役員皆安堵した。

18時からは懇親会で、一番人気の29名参加となった。ここ3年は毎年

栃木県同窓会

12月10日(日)、宇都宮市コンセーレで会員14名が出席して開催された。池谷友夫会長(昭49社福卒)の挨拶の後、来賓としてお越しいだいた福富哲也教授から大学の近況報告など貴重なお話をたくさん紹介していただき、懐かしい学生時代を振り返るとともに魅力あるキャンパスをもう一度見てみたいと思った。

次に群馬県同窓会から出席の神小柴平幸会長(昭51社福卒)、前原欣一事務局長(昭53社福卒)を紹介。協議では、28年度事業報告、決算報告、監査報告、29年度の事業計画案、予算案が承認された。終了後は懇親会が行われ、福富

総会では、開会の挨拶を佐々木隆志会長(昭59社福研究科卒)が行い、乾杯を惟村宣勝顧問(昭53産福卒)のご発声で開催した。

多くの歓声、歓喜に包まれ、とても楽しく心地よい時間をみんなと一緒に過ごすことができた。

設立からまだ3年目で会員の少ない同窓会ではあるが、卒業生共々、この機会をこれからも大切にしていきたいと思うので、会の発展のためにも皆様のご支援とお力添えのほど、よろしくお願ひいたします。

山形県同窓会

2、3年前から、「15回には母校キャンパスに行つてはどうか」などの意見が寄せられていたことから、大学当局の理解と支援により、11月18日(土)、国見キャンパスを会場に22名が参加。実現の運びとなった。

大学のバスを貸し切り、オーブキャンパススクラブのメンバー2名のガイドで国見ヶ丘第1・2キャンパスや関連付属施設を巡り、数十年前の卒業時を思い出して、まるで浦島太郎の世界に迷い込んだようだった。

また、最新の教室で本学入学センター千葉喜事務部長から「東北福祉大学のめざすもの、明日の社会を担う人材づくり」と題して、記念講義を頂いた。

その後、会場を食工房風土に移し、菅本昭夫東北福祉大学同窓会長を来賓に迎え、総会に入った。引き続き交流懇親会では、多国籍料理の食で癒され学生生活にタイムスリップして楽しく語り合いながら、来年の出会いを互いに約束した。

役員改選の結果、新たに本間衛氏(平17社福研究科卒)が会長に就任し、佐藤正知氏(昭41社福卒)を名誉会長に委嘱したことを報告する。

12月10日(日)、宇都宮市コンセーレで会員14名が出席して開催された。池谷友夫会長(昭49社福卒)の挨拶の後、来賓としてお越しいだいた福富哲也教授から大学の近況報告など貴重なお話をたくさん紹介していただき、懐かしい学生時代を振り返るとともに魅力あるキャンパスをもう一度見てみたいと思った。

母校訪問

山形県同窓会

2、3年前から、「15回には母校キャンパスに行つてはどうか」などの意見が寄せられていたことから、大学当局の理解と支援により、11月18日(土)、国見キャンパスを会場に22名が参加。実現の運びとなった。

大学のバスを貸し切り、オーブキャンパススクラブのメンバー2名のガイドで国見ヶ丘第1・2キャンパスや関連付属施設を巡り、数十年前の卒業時を思い出して、まるで浦島太郎の世界に迷い込んだようだった。

また、最新の教室で本学入学センター千葉喜事務部長から「東北福祉大学のめざすもの、明日の社会を担う人材づくり」と題して、記念講義を頂いた。

その後、会場を食工房風土に移し、菅本昭夫東北福祉大学同窓会長を来賓に迎え、総会に入った。引き続き交流懇親会では、多国籍料理の食で癒され学生生活にタイムスリップして楽しく語り合いながら、来年の出会いを互いに約束した。

役員改選の結果、新たに本間衛氏(平17社福研究科卒)が会長に就任し、佐藤正知氏(昭41社福卒)を名誉会長に委嘱したことを報告する。

次に群馬県同窓会から出席の神小柴平幸会長(昭51社福卒)、前原欣一事務局長(昭53社福卒)を紹介。協議では、28年度事業報告、決算報告、監査報告、29年度の事業計画案、予算案が承認された。終了後は懇親会が行われ、福富

先生、神小柴会長、前原事務局長を囲み和やかな雰囲気の中、終了した。



山形県同窓会

開催予告

青森県同窓会
「還暦を祝う会」
日時：平成30年5月19日(土)
時間：19時から
場所：居酒屋おいらせ

青森市橋本1-8-26
[第19回総会・親睦会]
日時：平成30年7月7日(土)
時間：15時から
場所：ホテル青森
青森市堤町1-1-23
連絡：090-9226-0080
(担当 柿崎 慎二)

事務局から

同窓会開催予告、同窓会開催報告等の配信をはじめ、氏名・住所変更の手続きができます。

なお、氏名・住所変更の際には会員番号が必要となります。(宛名氏名の右下へ掲載) ホームページアドレス：
<http://www.tfuac.jp/alumni>

〒短信
寄稿して頂きました方々、ありがとうございました。スペースの関係上、記事をカットせざるを得なかったこと、ご了承ください。なお、表彰・入賞した方、個人または同窓生に関するニュースは大歓迎です。よろしくお願ひします。

連絡先 本学同窓会事務局
TEL:022(233)3111
FAX:022(233)3113
メールアドレス：
dousout@tfu-mail.tfuac.jp